

菊池広域連合告示第20号

菊池広域連合財政事情の公表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例（平成10年菊池広域連合条例第23号）第2条第1項の規定に基づき、菊池広域連合財政事情を別紙のとおり公表する。

令和3年12月1日

菊池広域連合長 荒木 義行

菊池広域連合の財政事情

令和3年12月1日公表

目 次

まえがき	-----	1
1 令和3年度上半期における一般会計の執行状況	-----	2
2 令和3年度 構成市町負担金の状況	-----	3
3 広域連合財産の状況	-----	4～5
4 令和2年度における一般会計決算の状況	-----	6～13

ま え が き

ここに公表します「財政事情」は、菊池地域住民の皆様には、広域連合の財政事情をお知らせすることにより、広域連合財政の実態と主要な施策についてご理解をいただき、管内市町の発展についてご理解・ご協力を得るためのものです。

今回は、令和3年度上半期（令和3年4月1日から令和3年9月30日）における一般会計の執行状況、令和2年度における一般会計決算の状況などを主な内容としております。

1. 令和3年度上半期における一般会計の執行状況

1) 歳入

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	収入済額	収入未済額	収入率
1 分担金及び負担金	2,372,347	0	2,372,347	1,897,878	474,469	80.0
2 使用料及び手数料	31,480	0	31,480	15,128	16,352	48.1
3 国庫支出金	0	0	0	0	0	0.0
4 県支出金	4,538	0	4,538	0	4,538	0.0
5 財産収入	108	0	108	0	108	0.0
6 繰入金	10,000	2,238	12,238	0	12,238	0.0
7 繰越金	7,000	0	7,000	0	7,000	0.0
8 諸収入	245	0	245	118	127	48.4
9 連合債	136,000	0	136,000	0	136,000	0.0
歳入合計	2,561,718	2,238	2,563,956	1,913,124	650,832	74.6

2) 歳出（目的別）

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	執行済額	残 額	執行率
1 議会費	4,612	0	4,612	285	4,327	6.2
2 総務費	88,856	0	88,856	26,592	62,264	29.9
3 民生費	56,360	198	56,558	8,353	48,205	14.8
4 衛生費	276,276	0	276,276	65,153	211,123	23.6
5 消防費	1,947,310	2,040	1,949,350	775,250	1,174,100	39.8
6 公債費	181,304	0	181,304	81,080	100,224	44.7
7 予備費	7,000	0	7,000	0	7,000	0.0
歳出合計	2,561,718	2,238	2,563,956	956,712	1,607,244	37.3

2. 令和3年度構成市町負担金の状況

1) 市町負担金の状況

(単位：千円、%)

予算項目 市町村	当初予算額	補正予算額	予算現額	収入済額	収入率
菊池市	781,991	0	781,991	625,593	80.0
合志市	649,899	0	649,899	519,919	80.0
大津町	457,825	0	457,825	366,260	80.0
菊陽町	482,632	0	482,632	386,106	80.0
合 計	2,372,347	0	2,372,347	1,897,878	80.0

2) 市町負担金の内訳

(単位：千円)

負担金項目 市町名	管理費	介護 保険費	障害者総 合支援費	火葬場費	し尿 処理費	消防費	総 計
菊池市	19,226	18,320	4,925	8,509	140,530	590,481	781,991
合志市	22,913	15,392	4,555	10,142	23,774	573,123	649,899
大津町	13,907	9,335	2,060	6,155	42,752	383,616	457,825
菊陽町	16,629	9,144	2,476	7,360	16,639	430,384	482,632
合 計	72,675	52,191	14,016	32,166	223,695	1,977,604	2,372,347

3. 広域連合財産の状況

1) 土地及び建物

(1) 土地 (地積)

(単位: m²)

区 分			R3.4.1	R3.4.1 ~ R3.9.30	R3.9.30
			現在高	増減高	現在高
その他の 行政機関	消防施設	泉ヶ丘消防署予定地	6,252.00	0.00	6,252.00
公共用財産	その他の施設	火葬場	6,698.50	0.00	6,698.50
		汚泥再生処理センター	11,763.00	0.00	11,763.00
合 計			24,713.50	0.00	24,713.50

(2) 建物 (延床面積)

(単位: m²)

区 分			R3.4.1	R3.4.1 ~ R3.9.30	R3.9.30
			現在高	増減高	現在高
その他の 行政機関	消防 施設	消防本部 (南消防署)	1,969.44	0.00	1,969.44
		北消防署	2,241.85	0.00	2,241.85
		西消防署	1,219.96	0.00	1,219.96
		泉ヶ丘消防署	403.64	0.00	403.64
公共用財産	その他の施設	公用車庫	42.00	0.00	42.00
		火葬場	1,628.27	0.00	1,628.27
		汚泥再生処理センター	4,441.81	0.00	4,441.81
合 計			11,946.97	0.00	11,946.97

2) 物品

区 分			R3.4.1	R3.4.1 ~ R3.9.30	R3.9.30
			現在高	増減高	現在高
車 両	事務局庁用車		3	0	3
	消防本部庁用車		37	0	37
備 品	事務局	ドラフトチャンパー	1	0	1
		遺体保冷庫	1	0	1
		発電機	1	0	1
	消防本部	防災エアータント	2	0	2
		高度救急処置シミュレーターII型	1	0	1
		インパルス消火器具	1	0	1
		体力練成器具コンビネーションマシン	1	0	1
		救助用チタン三連梯子	1	0	1
		高機能消防指令システム機器一式	1	0	1
		アルミ製三連はしご	1	0	1
		高度救命処置用訓練人形 (レサシアンシミュレーター・Simpad)	2	0	2
		自動体外式除細動器一式	2	-1	1
		消防救急デジタル無線設備一式	1	0	1
		空気充填用高圧コンプレッサー一式	1	0	1
合 計			57	-1	56

3) 債権

(単位：千円)

区 分		R3. 4. 1	R3. 4. 1 ~ R3. 9. 30	R3. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
貸付金		0	0	0
合 計		0	0	0

4) 基金

(単位：千円)

区 分		R3. 4. 1	R3. 4. 1 ~ R3. 9. 30	R3. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
財政調整基金		225,723		225,723
消防施設整備基金		100,000		100,000
合 計		325,723	0	325,723

5) 公債残高

(単位：千円)

区 分			R3. 4. 1	R3. 4. 1 ~ R3. 9. 30	R3. 9. 30
			現在高	増減高	現在高
連 合 債	事務局		2,100	△ 1,046	1,054
	消防本部		668,986	△ 79,301	589,685
合 計			671,086	△ 80,347	590,739

6) 一時借入金残高

(単位：千円)

区 分		R3. 4. 1	R3. 4. 1 ~ R3. 9. 30	R3. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
一時借入金残高		0	0	0
合 計		0	0	0

令和2年度 菊池広域連合一般会計決算概要

1. 決算の状況

令和2年度決算は、歳入総額が28億61万5千円、歳出総額が26億9千323万7千円であり、前年度に比べ、歳入総額で6.2%の増、歳出総額で3.8%の増となりました。

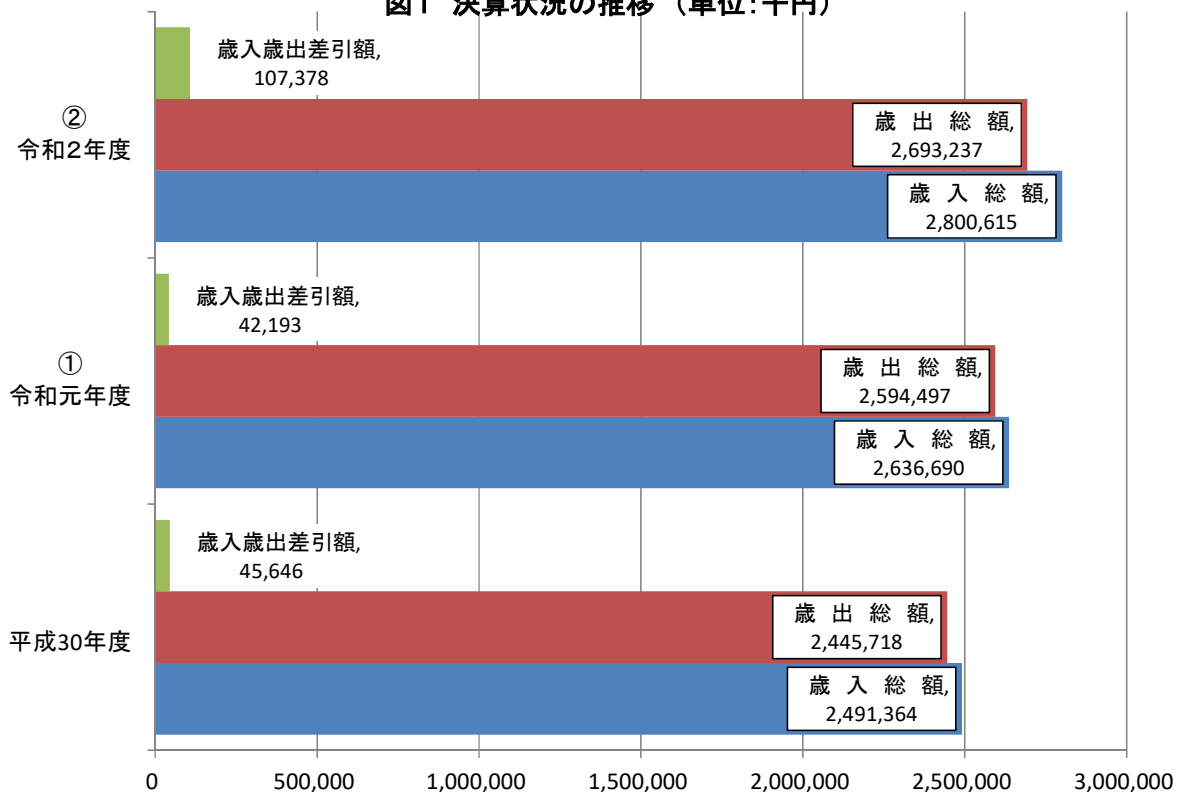
なお、歳入総額から歳出総額を引いた歳入歳出差引額(形式収支)は、1億737万8千円で前年度から6千518万5千円増加しております。

平成30年度から令和2年度の決算状況の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)

年度 項目	決算額			前年度比較	
	平成30年度	① 令和元年度	② 令和2年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
歳入総額	2,491,364	2,636,690	2,800,615	163,925	6.2
歳出総額	2,445,718	2,594,497	2,693,237	98,740	3.8
歳入歳出差引額	45,646	42,193	107,378	65,185	154.5
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	13,728	13,728	-
実質収支	45,646	42,193	93,650	51,457	122.0
単年度収支	△ 8,529	△ 3,453	51,457	54,910	1590.2
実質単年度収支	△ 51,045	△ 67,247	23,031	90,278	134.2

図1 決算状況の推移 (単位:千円)



※用語の解説

- 「実質収支」……… ・収支(歳入歳出差引額)から事業繰越等に伴い翌年度に繰り越すべき財源を差引いた額である。
* 実質収支 = 形式収支 - 翌年度へ繰り越すべき財源
- 「単年度収支」……… 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた額であり、当該年度のみの実質的な収入と支出の差額を意味する。
* 単年度収支 = 当該年度の実質収支 - 前年度の実質収支
- 「実質単年度収支」… ・単年度収支に、当該年度に措置された黒字要素(財政調整基金積立金、繰上償還)又は、赤字要素(積立金取崩し)を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようになったかを検証するものである。
* 実質単年度収支 = 単年度収支 + 財政調整基金積立額 + 地方債繰上償還額 - 財政調整基金取崩し額

2. 歳入の状況

前年度と比較すると、分担金負担金が1億4千172万5千円の増、主な要因は、消防費の泉ヶ丘消防署建設事業費及び消防施設整備基金積立金の増によるものです。使用料及び手数料が171万5千円の増、主な要因は、火葬場使用料の増によるものです。県支出金が8万8千円の増、主な要因は、県に派遣している消防職員の人件費の増によるものです。財産収入は、財政調整基金利子3万2千円の減、繰入金が3千540万の減、主な要因は、し尿処理費の工事請負費の減、消防費の人件費の減によるものです。繰越金は、増減なし。諸収入が87万1千円の減、主な要因は消防広域応援交付金の減によるものです。連合債は、消防車両の更新による5千670万円の増です。

平成30年度から令和2年度の歳入決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

歳入決算の状況

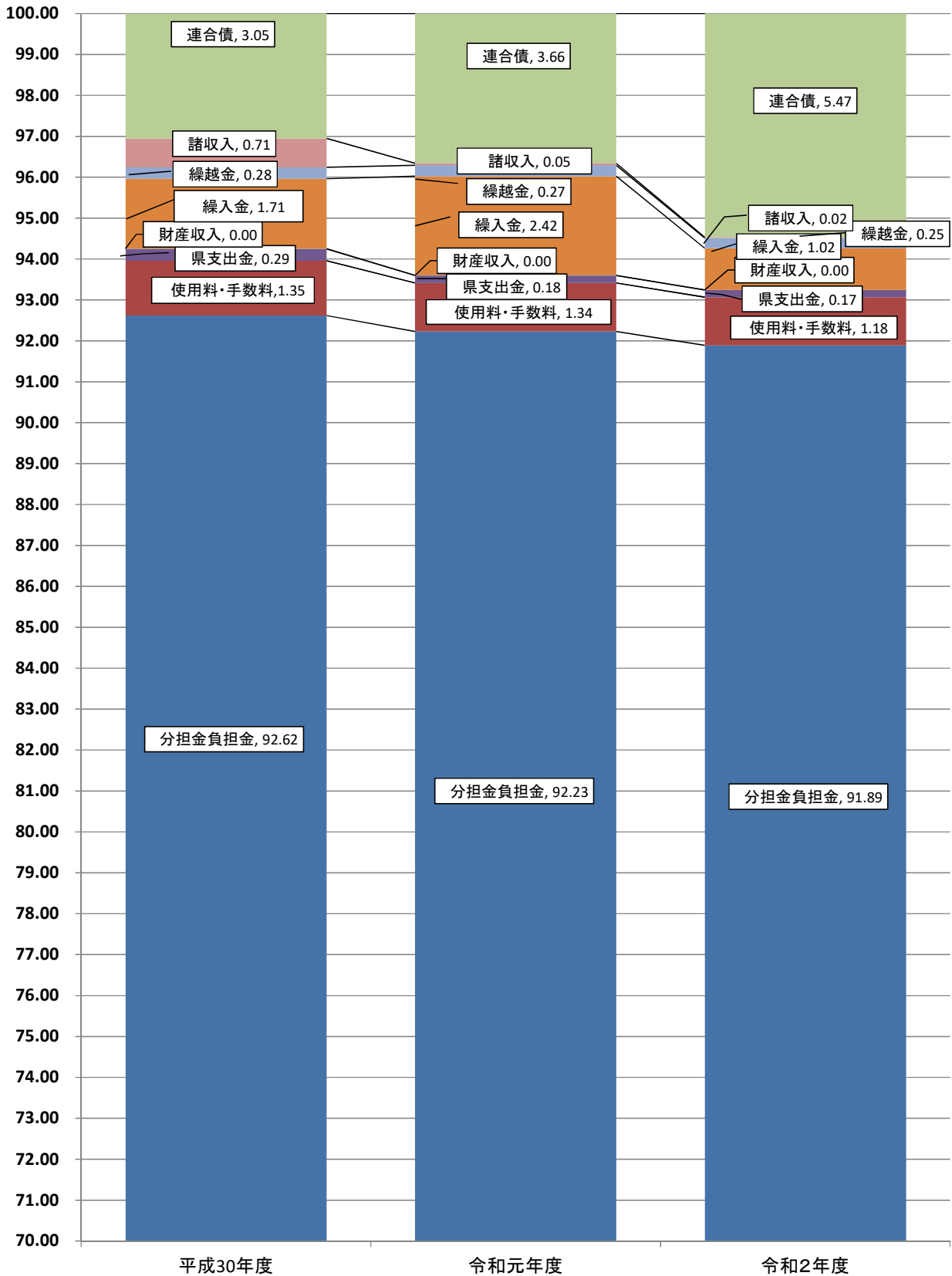
(単位:千円・%)

年度 項目	決算額			前年度比較	
	平成30年度	① 令和元年度	② 令和2年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
分担金負担金	2,307,450	2,431,816	2,573,541	141,725	5.8
使用料及び手数料	33,382	31,221	32,936	1,715	5.5
国庫支出金	0	0	0	0	0.0
県支出金	7,212	4,806	4,894	88	1.8
財産収入	99	114	82	△ 32	△ 28.1
繰入金	42,615	63,908	28,508	△ 35,400	△ 55.4
繰越金	7,000	7,000	7,000	0	0.0
諸収入	17,606	1,325	454	△ 871	△ 65.7
連合債	76,000	96,500	153,200	56,700	58.8
合計	2,491,364	2,636,690	2,800,615	163,925	6.2

※用語の解説

- 分担金負担金…………… 菊池広域連合を構成する市町(菊池市、合志市、大津町、菊陽町)からの負担金。菊池広域連合規約で事業ごとに負担割合を定めており、本連合の運営費の大半に充てられている。
- 使用料及び手数料…… 火葬場使用料、消防費手数料、行政財産使用料で構成される。うち、火葬場使用料と危険物施設許認可手数料で構成比の大半を占める。
- 国庫支出金…………… 国からの負担金、補助金等。(令和2年度については、該当なし。)
- 県支出金…………… 県からの負担金、補助金等。防災消防航空隊派遣職員の人件費及び県事務移譲交付金。
- 財産収入…………… 財産運用収入(基金の運用に伴う利子。)
- 繰入金…………… 基金繰入金(基金の取崩に伴う繰入金。単年度における構成市町の負担金が大幅に増加しないよう調整している。)
- 繰越金…………… 前年度から繰り越された額。純繰越金と繰越明許費に充当する繰越金がある。(令和2年度については、該当なし。)
- 諸収入…………… 雑入等(他の歳入科目の区分に該当しないすべての収入。)
- 連合債…………… 特定の事業費等の財源に充てるため起こした連合債の収入額。

図2 歳入決算構成比の推移(単位:%)



3-1. 歳出の状況(目的別)

目的別に前年度比でみた増減の主な要因は、議会費については、206万6千円の減で、正副連合長・議会議員合同研修(隔年実施)旅費の減によるものです。総務費については、1千808万8千円の増で、早期退職者の退職手当特別負担金及び洒水支所議場改修に伴う負担金の増によるものです。民生費については、250万の増で、介護認定支援システム改修業務委託料の増によるものです。衛生費については、7千530万3千円の増で、クリーンセンター花房改修工事費の増によるものです。消防費については、1億7千775万5千円の増で、泉ヶ丘消防署建設事業、消防車両購入及び今年度から新設した消防施設整備基金積立金の増によるものです。公債費については、1億7千284万円の減で、平成15・17年度借入分のし尿処理施設建設に係る起債の償還を終えたことによるものです。

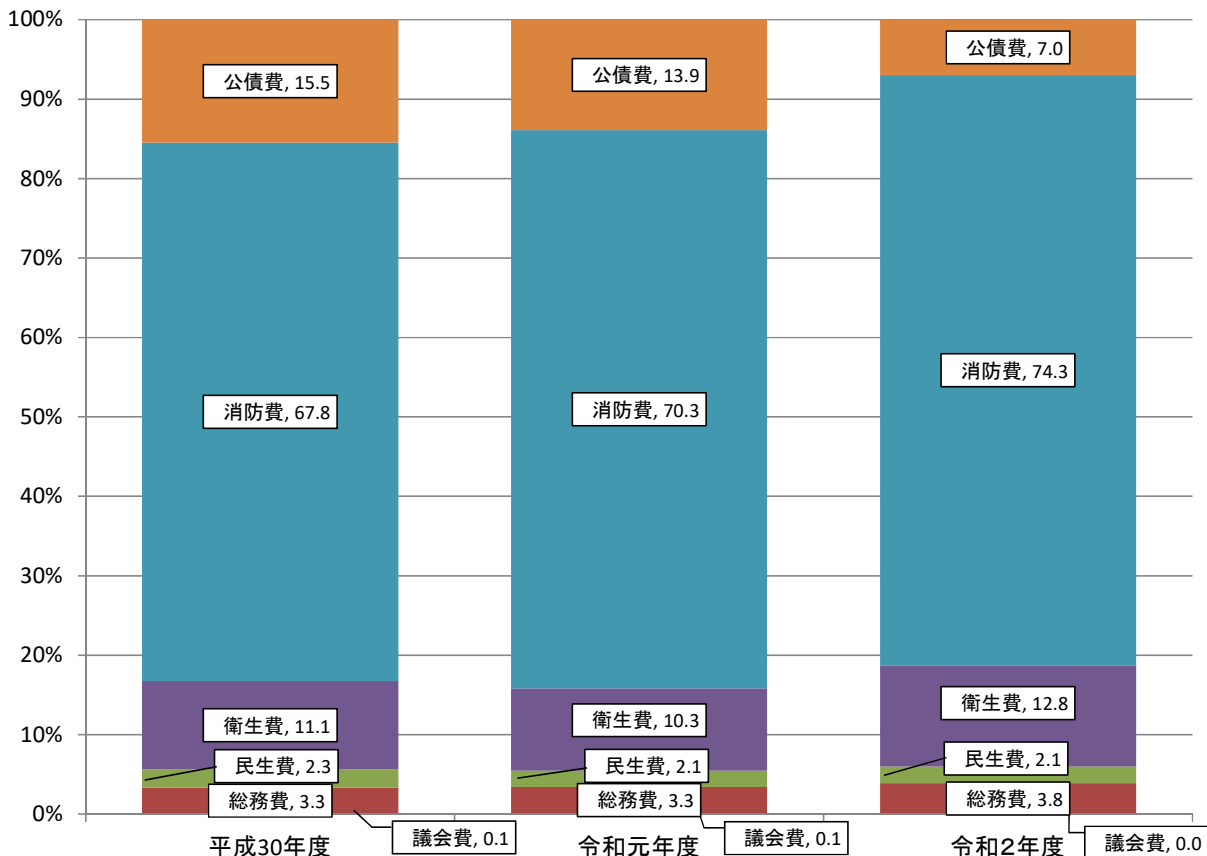
平成30年度から令和2年度の目的別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

目的別歳出決算の状況

(単位:千円・%)

項目	決算額			前年度比較	
	平成30年度	① 令和元年度	② 令和2年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
議会費	1,619	3,321	1,255	△ 2,066	△ 62.2
総務費	79,918	85,249	103,337	18,088	21.2
民生費	55,979	54,014	56,514	2,500	4.6
衛生費	272,373	268,112	343,415	75,303	28.1
消防費	1,657,242	1,823,058	2,000,813	177,755	9.8
公債費	378,587	360,743	187,903	△ 172,840	△ 47.9
予備費	0	0	0	0	0.0
合計	2,445,718	2,594,497	2,693,237	98,740	3.8

図3 目的別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



3-2. 歳出の状況(性質別)

性質別に前年度比でみた増減の主な要因は、人件費については、266万3千円の増で、消防職員の人員増及び給与改定によるものです。物件費については、4千558万3千円の減で、梯子車のオーバーホール終了に伴う減によるものです。維持補修費については、7千969万8千円の増で、クリーンセンター花房改修工事及び高機能消防指令施設部分更新によるものです。扶助費については、182万5千円の増で、児童手当の増によるものです。補助費等については、283万3千円の減で、泗水支所議場改修負担金の増及びし尿処理施設環境整備助成金の減によるものです。普通建設事業費については、1億3千584万2千円の増で、泉ヶ丘消防署建設事業及び消防車両購入の増によるものです。公債費については、1億7千284万円の減で、平成15・17年度借入分のし尿処理施設建設に係る起債の償還を終えたことによるものです。積立金については、9千996万8千円の増で、消防施設整備基金の積立によるものです。

平成30年度から令和2年度の性質別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)

年度 項目	決算額			前年度比較	
	平成30年度	① 令和元年度	② 令和2年度	前年度比較額 ③=②-①	増減比 ③/①
人件費	1,403,334	1,481,513	1,484,176	2,663	0.2
物件費	314,537	363,304	317,721	△ 45,583	△ 12.5
維持補修費	99,575	151,346	231,044	79,698	52.7
扶助費	21,045	22,445	24,270	1,825	8.1
補助費等	106,279	105,433	102,600	△ 2,833	△ 2.7
普通建設事業費	122,262	109,599	245,441	135,842	123.9
公債費	378,587	360,743	187,903	△ 172,840	△ 47.9
積立金	99	114	100,082	99,968	87691.2
合計	2,445,718	2,594,497	2,693,237	98,740	3.8

図4 性質別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



4. 基金の状況

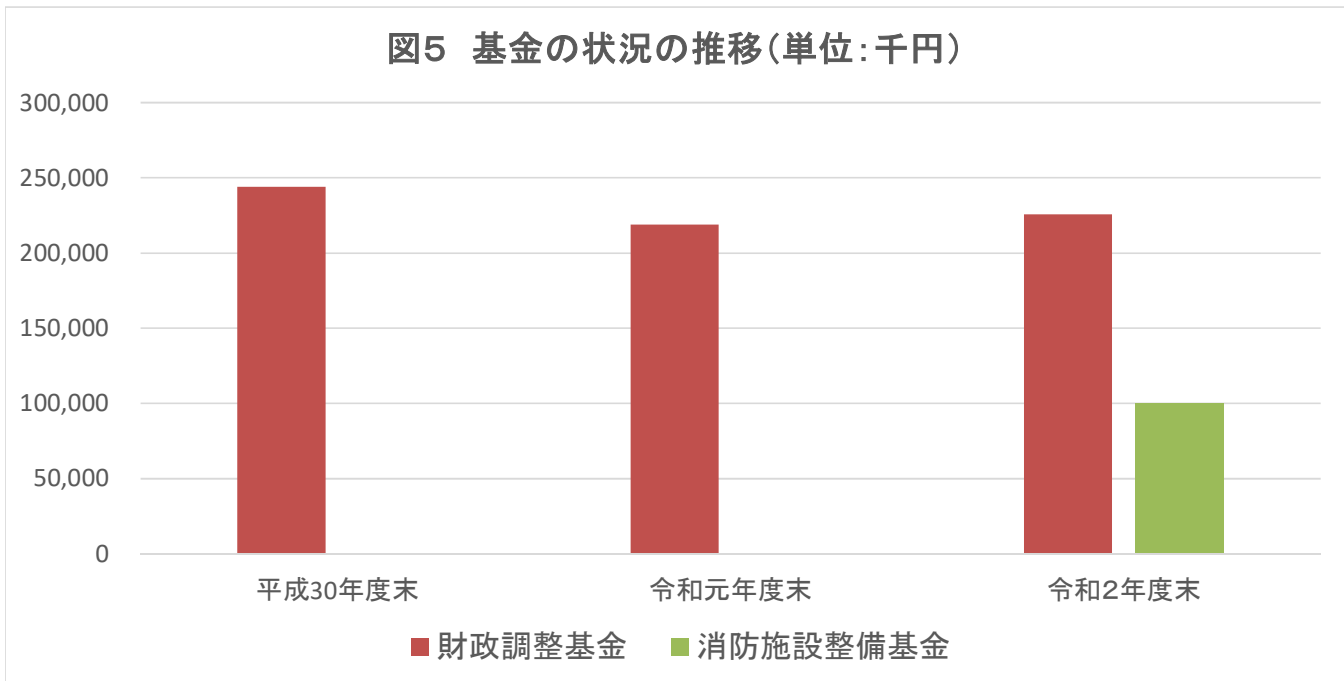
構成市町からの負担金を軽減するため、令和2年度は2千850万8千円を財政調整基金から繰入れました。その結果、財政調整基金の令和2年度末残高は、2億2千572万3千円となりました。また、令和2年度から消防機関の施設及び防災基盤施設の計画的な整備のため、消防施設整備基金を設置し、1億円積立しました。

なお、基金の状況の推移及び用途別の基金内訳は以下のとおりです。

(単位:千円)

基金の名称	設置の目的	平成30年度末 現在高	令和元年度末 現在高 A	令和2年度			令和2年度末 現在高 A+B-C+D
				歳出決算額 B	取崩・繰出 C	歳計剰余金処分 D	
財政調整基金	財源の調整	244,104	218,956	82	28,508	35,193	225,723
消防施設整備基金	消防施設整備	-	-	100,000	0	0	100,000

図5 基金の状況の推移(単位:千円)



用途別の基金内訳

項目	令和2年度末基金高
管理費等	0円
職員研修費	1,686,221円
介護保険費	2,770,799円
障害者福祉費	238,296円
火葬場費	45,491,592円
し尿処理費	91,734,301円
消防費	83,801,404円
合計	225,722,613円

5. 連合債の状況

連合債残高は、令和2年度に新規発行を2件(1億5千320万円)行い、令和2年度末残高は前年比3千310万5千円の減で、6億7千108万6千円になっています。

内訳は、消防費の西消防署高規格救急自動車整備事業で施設整備事業債、北消防署救助工作車Ⅲ型整備事業で緊急防災・減災事業債の借入を行いました。

連合債の利率別の構成比は、0.5%以下が98.4%、0.5%超～1.5%以下が1.3%、1.5%超～2.0%以下が0.3%です。

年度毎の連合債の状況と令和元年度末現在高の利率別の構成比は、以下のとおりです。

(単位:千円)

起債区分	平成30年度末 現在高	令和元年度末 現在高 A	令和2年度 発行額 B	令和2年度元利償還額			令和2年度末 現在高 E=A+B-C
				元金 C	利子 D	合計 D	
一般廃棄物処理事業債	220,761	33,086		31,333	259	31,592	1,753
財源対策債	35,900	5,811		5,464	46	5,510	347
一般単独事業債	131,230	110,116		32,434	167	32,601	77,682
一般補助施設整備事業債	20,504	15,380		5,124	56	5,180	10,256
施設整備事業債(一般財源化分)	80,096	63,642	8,600	16,204	100	16,304	56,038
都道府県貸付金等	56,000	49,000		7,000	0	7,000	42,000
緊急防災・減災事業債	419,410	427,156	144,600	88,746	970	89,716	483,010
合 計	963,901	704,191	153,200	186,305	1,598	187,903	671,086

令和2年度末現在高の利率別構成比

